



水稻営農だより



令和3年第5号[7月15日発行]

JAつがる弘前
弘前地区営農係

～水管理の徹底で収量、品質の確保に努めましょう！！～

生育状況

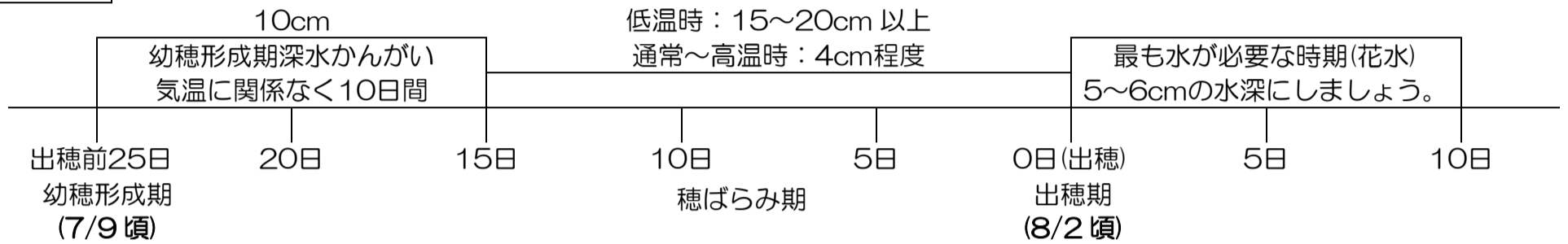
(中苗つがるロマン)

6月30日現在(当農協管内10地点平均)

	草丈(cm)	茎数(本)	葉齢	幼穂形成期
本年	45.4	18.0	8.4	7月9日
平年	43.9	19.8	8.6	7月13日
前年	43.4	21.0	8.5	7月11日

- ・現在の稲の生育状況は、茎数、葉齢ともにややひくいもののほぼ平年並みに推移しております。
- ・穂首分化期は平年より4日早い7月1日となり、幼穂形成期も平年より4日早い7月13日となりました。
- ・今後は稲の生育、コメの品質にとって重要な時期となります。しっかりと水管理をおこないましょう。

・水管理



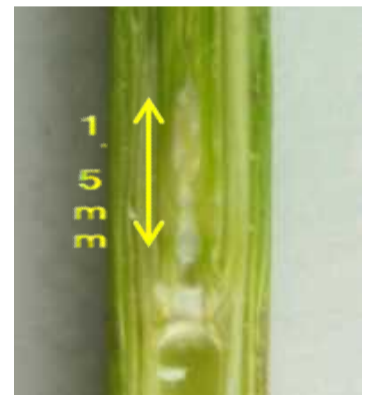
※穂ばらみ期は特に低温に弱い時期なので深水(15cm以上)にし、幼穂を保護しましょう。

- ・近年、高温による胴割粒や充実不足が多くなっているため、次のような水管理をしましょう。
- ① 出穂後10日間の最高気温が30℃を越えるような場合は、水の入れ替え、かけ流しを実施しましょう。
- ② 急激な水分変動を防ぐため、早期落水は避けましょう！

・追肥

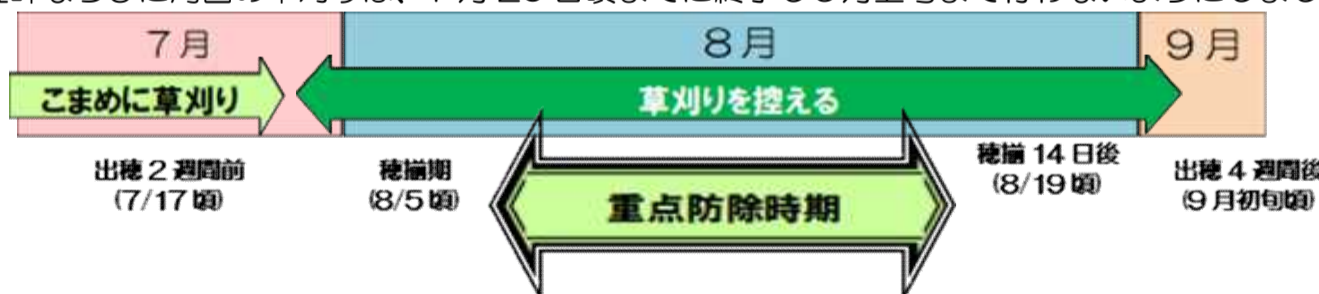
葉色が淡くなったことを確認してNK25号又はロマン追肥を10a当たり1袋施用してください。葉色が落ちない場合は、追肥を中止しましょう。

	幼穂形成期前 ～7月8日頃	幼穂形成期 7月9日頃	減数分裂期 7月16日頃	減数分裂期以降 7月17日頃～
追肥の影響	×過剰な分けつ ×生育の遅れ ×倒伏しやすくなる	← 追肥適期 →		×増収の効果が低い ×食味低下
		○穂数確保 ○籾数確保	○籾数確保 ○玄米肥大促進	



・カメムシ対策

畦畔ならびに周囲の草刈りは、7月20日頃までに終了し9月上旬まで行わないようにしましょう。



穂揃期～穂揃14日後が重点防除時期です。例年斑点米カメムシによる被害が多くみられる圃場では「穂揃期」と「その7～10日後」の2回防除を行い、密度低下に努めましょう。



アカヒゲホソミドリカスミカメ



葉いもち病斑

・病害虫防除

	対象病害虫	一般	青天の霹靂
出穂直前	7/30～8/1頃	いもち病	ビームDL粉剤
穂揃期	8/6～7頃	いもち病、カメムシ	ビームスタークルDL粉剤
穂揃期10日後頃	8/16～18頃	カメムシ	スタークルDL粉剤
			ビームDL粉剤またはビームゾル(航空防除) スタークルH粒剤(穂揃期) またはスタークルDL粉剤(穂揃7～10日後) またはスタークル液剤(航空防除)

航空防除実施について

出穂直前	[予定]7月25日、26日	ビームゾル(いもち病)
穂揃期10日後	[予定]8月12日、13日	スタークル液剤(カメムシ)



※防除後、いもち病の発生が見られる圃場や昨年カメムシの被害により落等した圃場では、追加防除を行いましょ。

★航空防除で散布する「ビームゾル」は予防としての散布であり、発病後には全く効果がありません。

※散布は上記の期日を予定していますが、天候や稲の生育により変更される場合があります。

尚、近隣の皆様には、早朝からの散布による騒音でご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

また、薬剤が他へ飛散しない万全の体制で実施しておりますが、更なる安全性を確保するため、散布田の隣接しているハウスや畑の方々はビニールを下ろすなどの対策、また近隣に住宅を所有されている方は、洗濯物の取り込みや窓閉め、ペットの避難などの対策を講じてくださいますよう、ご協力をお願いいたします。